

岐阜工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	医療福祉工学特論	
科目基礎情報							
科目番号	0017			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	先端融合開発専攻			対象学年	専1		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	各講師が用意した資料を用いる						
担当教員	青木 哲,北川 秀夫,北川 輝彦						
到達目標							
医療福祉工学分野の研究および技術開発動向に関する知識を身につけるとともに、自身の調査内容を含めたレポート作成を通じて、実システムへの適用について考察する。これにより当該分野の現状、課題を理解する。 ①医療福祉機器の理解 ②環境衛生管理の理解 ③専門技術分野を背景とした医療福祉工学の理解、考察 ④異なった技術分野を背景とした医療福祉工学の理解、考察 【オムニバス方式】							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	医療福祉機器に関する課題をレポート等で正確(8割以上)に解答できる。		医療福祉機器に関する課題をレポート等でほぼ正確(6割以上)に解答できる。		医療福祉機器に関する課題をレポート等で解答することができない。		
評価項目2	環境衛生管理に関する課題をレポート等で正確(8割以上)に解答できる。		環境衛生管理に関する課題をレポート等でほぼ正確(6割以上)に解答できる。		環境衛生管理に関する課題をレポート等で解答することができない。		
評価項目3	専門分野を背景とする医療福祉工学の講演内容を理解し、これに関する課題をレポート等で正確(8割以上)に解答できる。		専門分野を背景とする医療福祉工学の講演内容を理解し、これに関する課題をレポート等でほぼ正確(6割以上)に解答できる。		専門分野を背景とする医療福祉工学の講演内容を理解し、これに関する課題をレポート等で解答することができない。		
評価項目4	異なった技術分野における医療福祉工学の講演内容を理解し、これに関する課題をレポート等で正確(8割以上)に解答できる。		異なった技術分野における医療福祉工学の講演内容を理解し、これに関する課題をレポート等でほぼ正確(6割以上)に解答できる。		異なった技術分野における医療福祉工学の講演内容を理解し、これに関する課題をレポート等で解答することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	医療福祉工学分野の研究および技術開発動向に関する知識を身につけるとともに、自身の調査内容を含めたレポート作成を通じて、実システムへの適用について考察する。これにより当該分野の現状、課題を理解する。						
授業の進め方・方法	医療福祉工学に関する各テーマについて学習した後、その適用に伴う諸問題等について調査、整理してレポートを作成する。						
注意点	授業中の意欲的な質問と討論が期待される。 学習・教育目標：(D-4) 30%、(D-5) 70% JABEE基準 1 (1)：(d)						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	(北川秀)：医療福祉工学のための計測技術 (ALのレベル：C)		今回のテーマの概要とその適用に伴う諸問題について理解する。 (教室外学修) 講義内容の要約に自身の調査内容、考察を含めた課題レポートをA4紙1枚程度で作成する		
		2週	(北川秀)：自立支援機器・ロボット、機能回復支援機器・ロボット (ALのレベル：C)		今回のテーマの概要とその適用に伴う諸問題について理解する。 (教室外学修) 講義内容の要約に自身の調査内容、考察を含めた課題レポートをA4紙1枚程度で作成する		
		3週	(北川秀)：介護支援機器・ロボット (ALのレベル：C)		今回のテーマの概要とその適用に伴う諸問題について理解する。 (教室外学修) 講義内容の要約に自身の調査内容、考察を含めた課題レポートをA4紙1枚程度で作成する		
		4週	(北川秀)：医療支援機器・ロボット (ALのレベル：C)		今回のテーマの概要とその適用に伴う諸問題について理解する。 (教室外学修) 講義内容の要約に自身の調査内容、考察を含めた課題レポートをA4紙1枚程度で作成する		
		5週	(北川輝)：各種撮影機器と原理の概略 (ALのレベル：C)		今回のテーマの概要とその適用に伴う諸問題について理解する。 (教室外学修) 講義内容の要約に自身の調査内容、考察を含めた課題レポートをA4紙1枚程度で作成する		
		6週	(北川輝)：撮影された医療用画像の概略と捉え方 (ALのレベル：C)		今回のテーマの概要とその適用に伴う諸問題について理解する。 (教室外学修) 講義内容の要約に自身の調査内容、考察を含めた課題レポートをA4紙1枚程度で作成する		
		7週	(北川輝)：医療用画像の問題点と解決策 (ALのレベル：C)		今回のテーマの概要とその適用に伴う諸問題について理解する。 (教室外学修) 講義内容の要約に自身の調査内容、考察を含めた課題レポートをA4紙1枚程度で作成する		
		8週	(北川輝)：医療用画像の応用・先端研究1 (ALのレベル：C)		今回のテーマの概要とその適用に伴う諸問題について理解する。 (教室外学修) 講義内容の要約に自身の調査内容、考察を含めた課題レポートをA4紙1枚程度で作成する		

4thQ	9週	(北川輝) : 医療用画像の応用・先端研究2 (ALのレベル : C)	今回のテーマの概要とその適用に伴う諸問題について理解する。 (教室外学修) 講義内容の要約に自身の調査内容、考察を含めた課題レポートをA4紙1枚程度で作成する
	10週	(青木) : 各種疾患と人体の暴露環境 (ALのレベル : C)	今回のテーマの概要とその適用に伴う諸問題について理解する。 (教室外学修) 講義内容の要約に自身の調査内容、考察を含めた課題レポートをA4紙1枚程度で作成する
	11週	(青木) : 建築物全般における環境衛生管理 (ALのレベル : C)	今回のテーマの概要とその適用に伴う諸問題について理解する。 (教室外学修) 講義内容の要約に自身の調査内容、考察を含めた課題レポートをA4紙1枚程度で作成する
	12週	(青木) : 感染症と生体防御 (ALのレベル : C)	今回のテーマの概要とその適用に伴う諸問題について理解する。 (教室外学修) 講義内容の要約に自身の調査内容、考察を含めた課題レポートをA4紙1枚程度で作成する
	13週	(青木) : 病院における空気調和・衛生管理 (ALのレベル : C)	今回のテーマの概要とその適用に伴う諸問題について理解する。 (教室外学修) 講義内容の要約に自身の調査内容、考察を含めた課題レポートをA4紙1枚程度で作成する
	14週	(青木) : 介護支援と住環境 (ALのレベル : C)	今回のテーマの概要とその適用に伴う諸問題について理解する。 (教室外学修) 講義内容の要約に自身の調査内容、考察を含めた課題レポートをA4紙1枚程度で作成する
	15週	(北川秀) : 医療福祉工学のまとめ	医療福祉工学の概要について理解する
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
			課題	合計	
総合評価割合			140	140	
得点			140	140	